

解答

□

問 1 エ

問 2 ウ

問 3 たくさんの人々と交流する中で知りあった一人の方と交流することに対して、ちゃんとその人の話を覚えていて
氣遣い、一人一人を大事にするという点。

問 4 ア・エ

問 5 すでに上着

問 6 わたしにも（そういう罪があるのよ）

問 7 エ

問 8 (1) いじめや差別が完全にはなくなっても、活動が続けることでよい方向に向かうよう最後まで力をつくすこと。

(2) 樹木さんの手紙は、いじめがなくならないことを前提としているので、いじめをなくす活動を行っている
中島さんの直接的な支えとなるものではないが、いじめが生まれる背景となる「ちがい」に目を向け、その
「ちがい」をなくすことは必ずしも良くはないと述べている。「いじめ」は良くないが「いじめ」が生まれて
しまう「ちがい」は必要なものであることを子どもたちにわかりやすく伝え考えさせてくれる手紙を書いてく
れた樹木さんに感謝しているのと同時に、「いじめ」はなくしたいけれども子どもの個性をなくすべきではな
いという点も考えた上でより良い方向に向かうよう努力していくべきだという励ましも与えられたと考え、こ
の活動を行い続けていこうと思っているから。

問 9 a 拝見 b 独特 c 厳 [し]

□

問 1 a 綿 b 胸 c 信念 d 新幹線

問 2 イ

問 3 イ

問 4 歌手として歌って踊っている「僕」と、小説などを書いている「僕」が別の人物（孫）だと思っていること。

問 5 祖父に顔を見せに行つてあげなさい

問 6 エントラン

問 7 イ

問 8 「どちらさまでるか」

問 9 イ

問 10 怒りっぽくて感情的な人だと捉え、家族ともよく言い合いになる祖父のことが好きになれず苦手な人だと感じて
いた。しかし、実際の祖父は正義感が強く、信念のもと理不尽で不平等な社会に怒る立派な人であった。祖父の本
当の思いや考えも知らず、自分は祖父の表面だけを見て苦手な人だと遠ざけていたことがわかり、自分の人を見る
目のなさや家族への理解の浅さを知ってショックを受け反省したから。

問 11 ウ